

## 環境白書の刊行に当たって

広島県知事 湯崎英彦



私たちが住む広島県は、南に瀬戸内海の多島美、北に雄大な中国山地を有しており、美しく豊かな自然環境に恵まれています。

本県では、この恵み豊かな環境を将来にわたって守り育てるため、「第5次広島県環境基本計画」(計画期間: 令和3(2021)年度～令和7(2025)年度)を策定し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の仕組みの構築を目指して、取組を進めているところです。

近年、地球温暖化による自然災害リスクの増加や、海洋プラスチックごみによる環境汚染への懸念が高まる中、今年5月に開催されたG7広島サミットにおいては、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルの重要性が改めて確認されたほか、プラスチック汚染をゼロにすることについても更に積極的に取り組むこととされました。

本県においても、地球温暖化対策については、本年3月に「第3次広島県地球温暖化防止地域計画」を改定し、温室効果ガス排出量の削減目標を引き上げ、家庭部門におけるLED照明等の省エネ家電への買い替え促進や、産業部門における省エネ設備の導入促進、カーボンサイクルに係る実証事業の実施等、ネット・ゼロカーボン社会の実現に向け、あらゆる部門において取組を加速することとしております。

また、海洋プラスチックごみ対策については、令和3月6日に設立し、現在、110を超える企業・団体が参画している「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(GSHIP)」において、代替素材商品の普及促進やリユース等によるプラスチックの使用量削減、屋外回収拠点の多様化による流出防止対策等、県民及び事業者をはじめとする多様な主体と連携・協力しながら、取組を進めているところです。

この白書では、「第5次広島県環境基本計画」の体系に沿って、本県の環境の現状と課題及びこれらに対する取組などを幅広く掲載しています。

本書が、県民や事業者の皆様のご環境に関する理解を深め、考え、そして行動につなげるための一助となることを願っております。

令和5(2023)年9月